

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標：考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第 15 号

令和 3 年 11 月 19 日

校長 穂山俊之



本小だより

学校公開 ふくしまの学校 キラリ 学力向上推進事業



本校は昨年度より、県の「ふくしまの学校 キラリ 学力向上推進事業教育実践拠点校」の指定を受け、「ふくしまの授業スタンダード」（福島県の教員が、日々の授業改善のための指針として活用しているもの。）を軸にした授業研究と教科担任制を取り入れた授業研究に取り組んできました。

11月15日（月）は、その研究実践の公開日。次のクラスが授業を公開し、多くの先生に参観していただきました。

- ▷ 2年1組 算数科 九九をつくろう
- ▷ 3年1組 算数科 数の表し方やしくみを調べよう
- ▷ 5年2組 理科 物のとけ方
- ▷ 6年生 算数科 比例の関係をくわしく調べよう（コース別学習）



はじめのうちは、少し緊張気味の子どもたちでしたが、次第にいつもの調子になってきて、積極的に発表したり、意見交換をしたり、集中して授業に参加することができました。

参観した先生方からは、「本宮小の子どもは、よく話を聞いて、進んで発表できますね。」「落ち着いて、集中して学習に臨んでいますね。」など、お褒めの言葉をたくさんいただきました。授業を公開した学級の皆さん、よかったですね。そして、お疲れ様でした。

最後になりましたが、今回の授業研究会開催に向け、ご指導・ご支援をいただきました県北教育事務所、並びに本宮市教育委員会の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

いただいたご意見等を参考に、これからも、子どもたちのよりよい学びのための授業改善に取り組んでまいります。



算数検定 チャレンジする子どもたちにエールを！

算数科は、積み重ねが大切な教科と言われます。学年が進むにつれて、苦手科目にならないためにも、小学生のうちによりしっかり基礎となる力を身につけさせたいものです。

学習方法は、教科書の練習問題に取り組んだり、タブレットドリルに取り組んだりなど、さまざまですが、「算数検定を受験する」というのもそのひとつ。

11月12日（金）の放課後、希望者による「算数検定（実用数学技能検定）」があり、1～6年生の子どもたち、60名が取り組みました。自分が好きなこと、得意なことを見つけて、どんどんチャレンジする子どもたち…素晴らしいなあ。

チャレンジ精神が旺盛で、何にでも意欲的に取り組むことができる子は、あらゆる面でぐんぐん伸びていくものです。失敗を恐れず、チャレンジする子どもたちにエールを送ります！





1年生 生活科 たのしい秋いっぱい!

1年生の生活科では現在、「たのしい秋いっぱい」の学習をしています。11月11日(木)の3校時、落ち葉や実などの秋を見つけに、学校の北側にある花山公園(安達太良神社)へ出かけました。

この日はとても良いお天気で、秋のお出かけにはぴったりでした。

子どもたちは、紅くきれいに染まったもみじの葉っぱやかわいいドングリなど、たくさんの秋を見つけて大喜び。袋いっぱいにきれいなものや面白いものを詰め込んで、学校へ戻ってきました。拾ってきたドングリやもみじの葉っぱは、生活科や図工の材料に使用する予定です。



3年生 総合 高齢者疑似体験



3年生は、福祉に関わる学習をしています。その一環として、11月4日(木)の2、3校時、老人ホーム「しらさわ有寿園」のスタッフと本宮市社会福祉協議会の皆さんにご協力をいただき、高齢者疑似体験をしました。

6つのブースに分かれて、見えにくくなるゴーグルや音が聞こえにくくなるヘッドホンを装着したり、車いすに乗ったりするなどして、自分が実際に高齢者になった体験をさせていただきました。

見えにくくなるゴーグルを付けて、買い物体験する場では、財布から小銭をとるのも大変でした。

車いす体験の場では、「ちょっとの段差でも大変だ。」「障害物があると、動けないよ。」などなど、段差や狭い道幅の大きさなど、知ることができました。



高齢者の気持ち。サポートする人の気持ち。それぞれ体験してみると、その大変さや怖さ、サポートのありがたさを感じることができました。いつかは、自分も高齢者。そして、一番身近にいるのも高齢者。

何か自分にできることがありそうなことに気がつき始めた3年生。この日の体験は、これからの総合の学習だけでなく、ふだんの生活にも生かせそうです。

老人ホーム「しらさわ有寿園」のスタッフの皆様、本宮市社会福祉協議会の皆様、貴重な経験、ありがとうございました。

「お・か・し・も」 予告なしの避難訓練

11月5日(金)の昼休み、子どもたちへの事前連絡なしでの避難訓練を実施しました。

突然、避難訓練の放送があり、驚いた子どもたちが多かったのですが、しっかりと放送を聞き、速やかに避難場所に集合することができました。

火事も地震も、いつ起こるか分かりません。そのときどきにあわせ、どのように行動すればよいのか、自分で考えて行動してほしいと思います。自分の身は自分で守るのが災害の時の基本だそうです。

また、命にかかわることは、100点満点のできでないとはいけません。一番大切な命を守るためにも今日の避難訓練の内容をよく覚えて、もしもの時(実際には、そんなことはない方がいいのですが)に備えてほしいと思います。



<写真> 全体会(TV放送)での消防署職員の方の講評とそれを聞く子どもたち